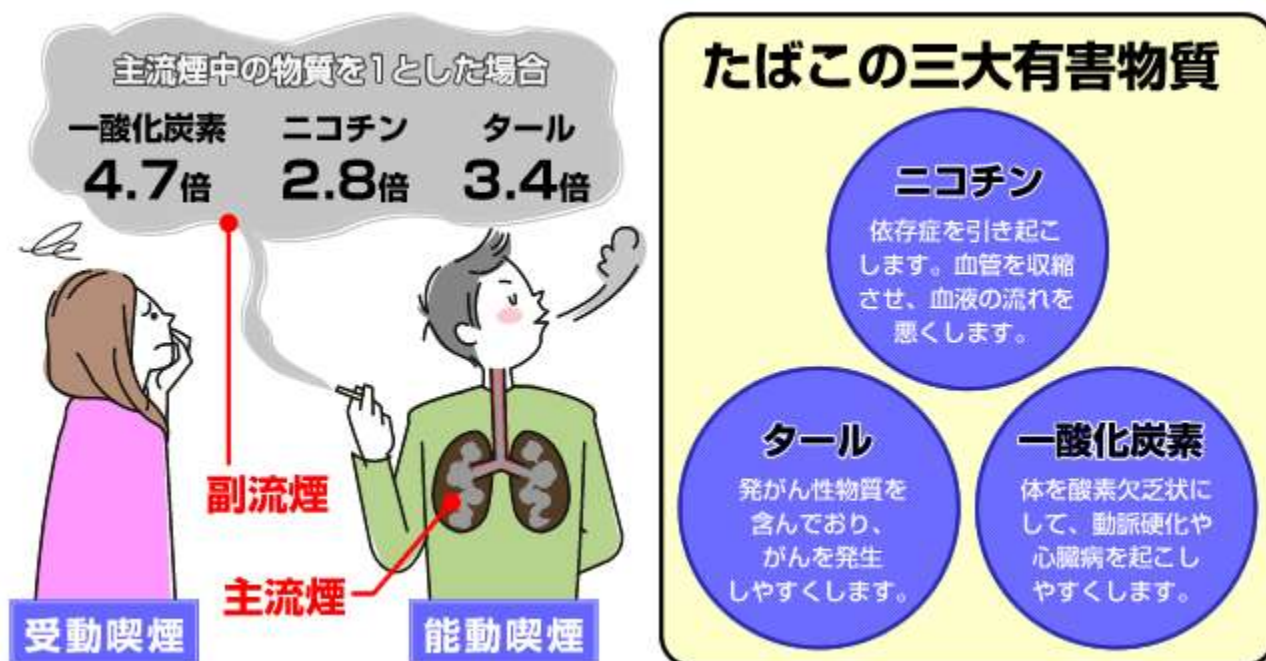


週刊 **タバコの正体**

他人のタバコの煙を吸わされる事を“受動喫煙”と言います。例えば、家の中で家族の誰かがタバコを吸うと、その煙は部屋じゅうに広がりますから、家族の全員が受動喫煙にさらされているわけです。タバコの煙が家じゅうに広がると、煙で白っぽくなるのは当然ですがそのニオイもキツイので、とても不愉快な気分になるでしょうね。でもじつは、不愉快な気分になるだけではなく、他人のタバコで自分の健康が脅かされる事になるのを知っていますか。



下妻市HP「健康・福祉・子育て」サイトから

上の図にあるように「タバコの三大有害物質」と言われる“ニコチン”、“タール”、“一酸化炭素”は、なんと本人が吸い込む煙(主流煙)よりも、周りの人が吸わされる煙(副流煙)の方が、2倍から4倍も多いのです。

「ちょっと待って、だったら自分のまわりで勝手にタバコは吸わないでよ」と言いたくなりますよね。

ところが、残念ながらこの事実を知っている喫煙者はあまりいません。だから、大切な家族がいる家の中でも喫煙をする大人もいるでしょうし、赤ちゃんや子どもを乗せた自動車のなかでもタバコを吸っている大人も見かけますからね。

“受動喫煙”という言葉は知らない人はいないでしょう。しかし、受動喫煙の有害性を認識している人は多くないのです。自分が吸わないのにタバコの被害を受けるなんて、ちょっと納得できないですよ。そんな世の中を変えるために、君たちのような次の世代がタバコを吸わない事が重要です。